

## ギニア

### 主要データ

国名〔英名〕	ギニア共和国〔Republic of Guinea〕
面積(km <sup>2</sup> )	245,857
海岸線延長(km)	320
人口(百万人)	10.6
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	43.1
GDP(百万US\$)	4,394
一人当りGDP(US\$)	414
主要鉱産物：鉱石	ボーキサイト、金
主要鉱産物：地金	—
鉱業管轄官庁	鉱山省(The Ministère des Mines)
鉱業関連政府機関	鉱業開発投資促進センター(Centre de Promotion et de Developpement Miniers)
鉱業法	Mining Code(鉱業法)
外資法	—
環境規制法(環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	—
鉱業公社	Campagnie des Bauxitee de Guinee(CBG)
近年の鉱業関連問題(資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	2010年3月 UC Rusal とギニア政府間の Friguia 製錬所売買契約の有効性を争う控訴審で UC Rusal 側が勝訴した
2009年のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2008年12月にクーデターが発生するも、鉱山各社は粛々とプロジェクトを継続していたが、政変の影響もあり、外国鉱山会社の撤退が相次ぐ</li> <li>・2009年9月 環境税を支払っていない産物の輸出が禁止され、UC Rusal は Friguia アルミナ製錬所の生産を停止した</li> </ul>

### 1. 鉱業一般概況

ギニアは、世界有数のボーキサイト生産国であり、ボーキサイトとアルミナの輸出が、輸出の60%以上をしめ、税収に占める割合は、少なくとも20%を占めている。ボーキサイトは世界最大級の埋蔵量を誇り、74億tである。他の鉱産物としては、セメント、ダイヤモンド、金、岩塩が生産されている。また、黒鉛、鉄鉱、石灰岩、マンガン、ニッケル、ウランが確認されており、鉄鉱については、埋蔵量は100億tとも言われている。

鉱山省(Ministère des Mines)は、鉱業分野の監督機関である。ギニアの鉱業法(Mining Code)は1995年と1998年に改正されている。鉱業関係の投資を扱う鉱業開発投資促進センター(Centre de Promotion et de Developpement Miniers)が鉱業法を基に設立されている。

2007年2月に新首相が選任され、それに続き、政府は財政調整、経済の安定、統治の改革のための新・経済計画を発表し、構造改革のプログラムに着手した。IMFや世界銀行の支援を受けて、2007年7月から2010年6月の間に鉱業法と鉱業契約の見直し、特に鉱業税制の見直しが進められていた。

しかしながら、2008年12月22日、コンテ大統領が病気により死去。その翌23日に、ムサ・ダディス・カマラ大尉を中心とする「民主主義と発展のための国民評議会（CNDD）」がクーデターにより政権を掌握し、暫定軍事政権が発足。国際社会はクーデターを非難し、African Union(AU)や、Economic Community Of West African States (ECOWAS)等はギニアの参加資格を凍結している。

また、暫定軍事政権は、新しい体制が確立するまで全鉱山の操業停止を命じたが、翌日にはその決定は取り消されている。その後、カマラ大尉は、鉱業法と鉱業契約の見直しを宣言。また、軍事政権は、前鉱山大臣の逮捕や鉱山閉鎖をちらつかせて各鉱山会社への圧力を強めている。また2009年4月1日～8日のUC RusalのFriguaアルミ製錬所の賃上げをめぐるストライキは、同製錬所の賃金水準は同国ではトップレベルであり、賃上げがないままにストライキが終了したことから、同製錬所の奪還を狙う同軍事政権による主導で行われたといわれている。軍事政権は、同製錬所は不当に安い価格で売却されたと主張し、一審では政府側勝訴、2010年3月の控訴審ではRusal側が勝訴している。2010年6月には、ロシア政府も加わりこの問題について協議が行われた。

2010年5月にValeは、BSG Resources(BSGR)ギニア子会社の株式51%を25億US\$にて取得し、Simandou SouthとSimandou Block 1 and 2プロジェクトを2012年に1,000万～1,500万t/年の規模で操業を開始し、最終的に2014年までに5,000万t/年まで拡張する計画である。

## 2. 鉱業政策の主な動き

- ・ 2008年12月 鉱山省は、全ての鉱業契約は取り消し、契約継続を前提に、鉱業契約を見直すことを発表
- ・ 2008年12月 コンテ大統領死去、その後、カマラ大尉による暫定軍事政権発足
- ・ 2008年12月 軍事政権発足直後、全ての鉱山操業停止を命じるが翌日には取り消された。
- ・ 2009年2月 鉱山省は鉱業権の見直しは、12月末の国政選挙実施まで遅れる見込みであることを発表
- ・ 2009年9月 環境税を支払っていない産物の輸出が禁止され、UC RusalはFriguiaアルミナ製錬所の生産を停止した。
- ・ 2010年3月 UC Rusalとギニア政府間のFriguia製錬所売買契約の有効性を争う控訴審でUC Rusal側が勝訴した。
- ・ 2010年5月 ギニア、イラン両国の鉱業大臣が、ギニアを含めたアフリカにおけるボーキサイト採取について協力関係を推進することで合意した。
- ・ 2010年6月 ギニア政府は、Rio Tinoに対し権益回復に向けた法的措置を認めず、法的措置を講ずる場合には、北側権益と同様に、Simandouの南側の権益の返還を求めることを通知した。
- ・ 2010年6月 ギニア政府は、UC Rusalとギニアにおけるアルミナボーキサイトの開発プロジェクトについて長期の戦略的協力関係の再確認を行い、同社が開発中のDain Dainボーキサイト鉱床開発の条件について合意した。Friguia製錬所の件についても協議された。

### 3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

#### (1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. ギニア：金属鉱石生産量

(単位：千 t、t (金))

鉱種	2007 年	2008 年	2009 年	2009 年増減比 (%)
ボーキサイト	18,519.0	19,780.0	14,774.2	-25.3
金	12.6	19.9	18.1	-9.0

(WMSY2010)

#### (2) 主要非鉄金属地金生産量

表 3-2. ギニア：金属地金生産量

(単位：千 t)

鉱種	2007 年	2008 年	2009 年	2009 年増減比 (%)
統計上のデータなし				

#### (3) 主要非鉄金属消費量

表 3-3. ギニア：金属地金消費量

(単位：千 t)

鉱種	2007 年	2008 年	2009 年	2009 年増減比 (%)
統計上のデータなし				

#### (4) 主要金属輸出量

表 3-4. ギニア：精鉱量

(単位：千 t)

鉱種	2007 年	2008 年	2009 年	2009 年増減比 (%)	主な輸出相手国 (3 か国程度)
統計上のデータなし					

#### (5) 主要非鉄金属輸入量

表 3-5. ギニア：精鉱中含量・地金輸入量

(単位：千 t)

鉱種	2007 年	2008 年	2009 年	2009 年増減比 (%)	主な輸出相手国 (3 か国程度)
統計上のデータなし					

### 4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業 (権益：%)	鉱種	生産量 (千 t)	備考
Boke (Sangaredi) ボー キサイト鉱山	Halco (Mining) Inc (権益 51%) ギニア政府 (権益：49%)	ボーキサイト	11.2	2009 年
Fria ボーキサイト 鉱山	United Company Rusal (権益： 100%)	ボーキサイト	2.8	2008 年

Kindia ボーキサイト 鉱山	United Company Rusal (権益 : 100%)	ボーキサイト	2.8	2008 年
Lefa Corridor 鉱山	Crew Gold Corp (権益 : 100%)	金	5.5 t	2009 年 (金生産量 : 177,623oz)
Siguiri 鉱山	AngloGold Ashanti Ltd. (権益 : 85%) ギニア政府 (権益 : 15%)	金	11.6 t	2009 年 (金生産量 : 371,765oz)

(Raw Material Data, Metals Economics Group)



図 1. ギニアの主要鉱山の位置図

表 4-2. 製錬・精製所生産状況

	権益所有企業 (権益 : %)	鉱種・形態	生産量 (千 t)	備考
Kimbo (Friguia) アル ミナ製錬所	United Company Rusal (権 益 : 100%)	アルミナ	595	2008 年

(Raw Material Data)

## 5. 探鉱状況

### (1) 企業化調査段階（鉱種、プロジェクト名、オペレーター）

- ・鉄、Simandou South、Vale
- ・鉄、Simandou Block 1 and 2、Vale

### (2) 鉱床能力の評価段階（鉱種、プロジェクト名、オペレーター）

- ・鉄、Simandou、Aluminum Corp of China
- ・鉄、Nimba、Euronimba
- ・鉄、Kalia、Bellzone Mining Plc
- ・ウラン、Firawa、Forte Energy NL
- ・金、Banankoro、Limteck Lithium Metal
- ・金、Kouroussa、Cassidy Gold Corp
- ・金、Mansounia、Burey Gold Corp
- ・金、Tri-K、Wega Mining SA (Avocet Mining plc)

### (3) 鉱床規模の把握段階（鉱種、プロジェクト名、オペレーター）

- ・金、Missamana、Anglo Aluminum Corp
- ・金、Balandougou、Goldenfrank Resources Inc

### (4) 初期探鉱段（鉱種、プロジェクト名、オペレーター）

ニッケル・銅、Mount Kakulima、Quadra Fnx Mining Ltd

## 6. 我が国との関係

### (1) 日本への輸出

表 6-1. ギニアの日本への精鉱・地金輸出量 （※含量ベースかマテリアル量かを明記）

（単位：千 t）

鉱種	2007 年	2008 年	2009 年	2009/2008 (%)
該当なし				

### (2) 日本企業による投資状況等

2006年1月、三菱商事は、同国で日本企業初のボーキサイト独占探査権（期間：3年間）を取得している。

## 7. その他トピックス

- ・ 2010 年 5 月、Vale は、BSG Resources (BSGR) に対し 25 億 US\$ の出資を行い、BSGS のギニア子会社の株式 51% を取得した。これにより、Vale は Simandou South と Simandou Block 1 and 2 の権益を取得した。Vale では、2012 年に 1,000 万～1,500 万 t/年の規模で操業を開始し、最終的に 2014 年まで 5000 万 t/年規模に拡張する計画である。
- ・ 2010 年 3 月、Rio Tinto は、Chinalco と Simandou 鉄鉱石開発計画を進める合弁事業設立することで合意し、MOU を締結した。Rio は、Simandou の権益を新合弁会社に移し、Chinalco は、合併子会社に 13 億 5 千万 US\$ を出資し、Chinalco が 44.65% を取得する。
- ・ 2010 年 1 月、BHP Billiton と ArcelorMittal は、ギニアとリベリアにおける鉄鉱石生産施設の統合について対話を開始した。

（ロンドン事務所 竹谷正彦）